

[EM 専攻卒業要件]

区分	修得すべき単位数	内訳		注意		
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	・各分野最低 2 単位 (合計 12 単位) と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。		
		(B) 歴史と文化	2 単位以上			
		(C) 現代社会	2 単位以上			
		(D) 自然と環境	2 単位以上			
		(E) 心と体	2 単位以上			
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上			
外国語科目	8 単位	必修外国語【1 年】	5 単位	・8 単位まで総合科目の「分野を問わない 8 単位」に算入できる。		
		必修外国語【2 年】	3 単位			
	—	選択外国語 (英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語)	—			
専門科目	専攻基礎科目 12 単位	学部共通科目	選択	6 単位	(必修科目 16 単位)	
		EM 専攻科目	選択	6 単位		
	専攻専門科目 36 単位	学部共通科目	必修	・ Introduction to Economics(a) ・ Capstone Project Seminar ・ Capstone Project		4 単位 2 単位 4 単位
		(E M 専攻科目) 経済経営学専攻科目	必修	・ Economics and Management Seminar1(a) ・ Economics and Management Seminar1(b) ・ Economics and Management Seminar2 ・ Economics and Management Seminar3(a) ・ Economics and Management Seminar3(b)		1 単位 1 単位 2 単位 1 単位 1 単位
			選択			20 単位
専攻指定科目 48 単位	選択	・卒業に必要な単位数を超えて修得した国際教養学部国際教養学科の専攻基礎科目並びに専攻専門科目 <sup>※1</sup> ・全学対象科目 <sup>※2</sup>	—			
合計	124 単位					

※1 学部共通科目、経済経営学専攻科目、グローバルスタディーズ専攻の専攻基礎科目および専攻専門科目

※2 卒業要件に算入できる全学対象科目の上限単位数は、28 単位とする。ただし、そのうち、教職の教科に関する概説科目は 8 単位まで、学芸員課程科目関連科目は 8 単位までを上限に算入を認める。

【卒業に必要な単位数に関する注意点】

- ① 総合科目（選択外国語を含む）を 20 単位より多く履修した場合、20 単位を超える部分については卒業単位に含まれません。
- ② 全学対象科目は 28 単位まで専攻指定科目（＝卒業単位）に算入できます。28 単位を超える単位については卒業単位に含まれません。
- ③ 教職の教科に関する概説科目は 8 単位まで、学芸員課程科目関連科目についても同じく 8 単位までを上限とし、全学対象科目として専攻指定科目（＝卒業単位）に算入できます。共に、8 単位を超える単位については卒業単位に含まれません。教職の教科に関する概説科目も、学芸員課程科目関連科目も、全学対象科目の単位数に算入されるため、②の条件にも注意してください。
- ④ 重複履修して修得した単位は、卒業に必要な単位に含むことはできません。